

めざせ!! 林業の
トップランナー



秋田の林業へ

On Your Mark!!

秋田県林業トップランナー養成研修
秋田林業大学校

令和
5年度 研修生募集

秋田県林業研究研修センター



林業のトップランナーをめざす 皆さんへ

秋田県知事 佐竹 敬久

国内有数の林業県として知られる本県では、藩政時代から森林の造成や保護管理に努めるなど、今日まで長い年月をかけて緑豊かな森林を築きあげてきました。

この間、本県の林業は、植栽や保育管理、木材生産などを通じて地域の雇用や経済を支えてきており、現在では全国屈指の資源量を有するまでに成長し、今まさに本格的な利用期を迎えております。

また、清らかな水を供給したり災害から住民を守るなど、県民の暮らしと深く関わる豊かな森林は、巨大なCO₂吸収源としての役割も期待されております。

こうした豊富な資源の循環利用を推進するとともに、「2050年カーボンニュートラル」の実現に貢献していくためには、高性能林業機械による低コスト生産から木材販売・利用、再造林までを一貫してマネジメントできる技術者の確保・育成が急務であります。

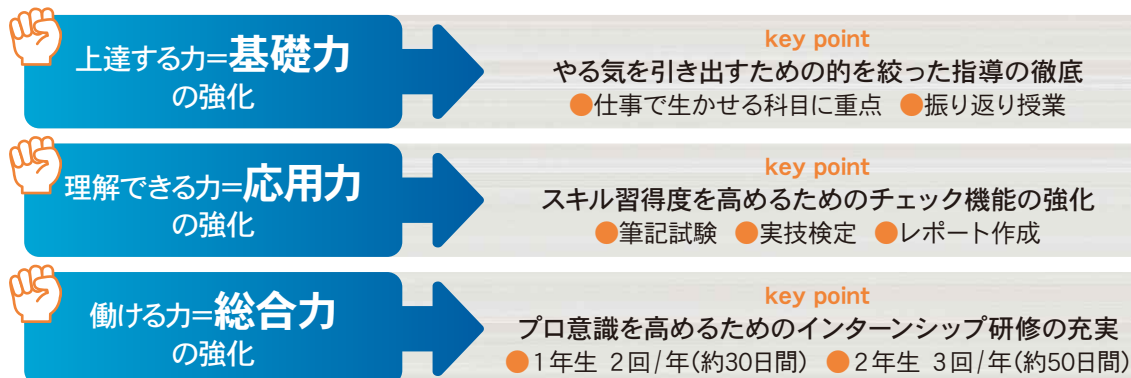
このため、本県では、平成27年度から秋田県林業トップランナー養成研修(秋田林業大学校)を開講し、民間と連携した「オール秋田」による指導体制のもと、実践的な知識や技術を習得するための講義や実習等を通じて、将来の秋田の林業を担う若い技術者の養成に努めております。

また、高性能林業機械やハーベスタシミュレーターの導入により、機械化の進む林業現場に対応した人材の育成に力を入れているほか、ドローンや地理空間情報等のICT技術の活用、低コスト造林に関する研修等を実施し、持続的な森林経営や脱炭素社会の実現に向けた取組も行っているところであります。

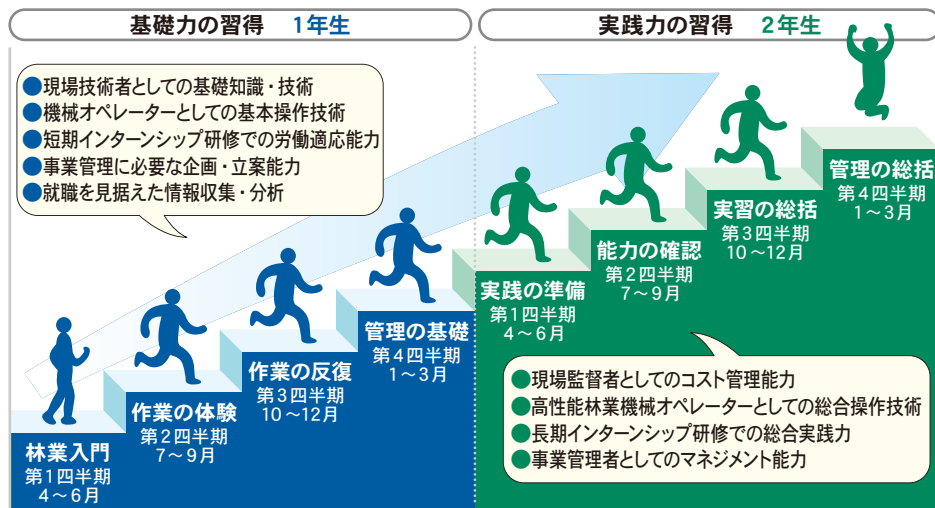
この春には第6期生が2年間の研修を修了し、林業技術者として力強く歩み始めており、皆様におかれましても、是非受講していただき、「林業のトップランナー」として秋田の林業はもとより、地域を支える人材として活躍されることを期待しております。

研修システム

スキルアップに向けた三つの力の強化!!



スキルアップに向けた着実なステップアップ!!



こんな資格が取得できます

- | 1年次 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 小型車両系建設機械特別教育 ● 車両系建設機械運転技能講習 ● はい作業従事者安全教育 ● 伐木等の業務に関わる特別教育 ● 刈払機取扱作業安全教育 |
| 2年次 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 機械集材装置の運転に関わる特別教育 ● 走行集材機械の運転業務特別教育 ● 簡易架線集材装置等の運転業務特別教育 ● 伐木等機械の運転業務特別教育 ● 不整地運搬車運転技能講習 ● 森林施業プランナー特別一次試験 ● 松くい虫専門調査員 ● 秋田県林業技術管理士 |

※令和5年8月末日までに普通自動車運転免許を取得する必要があります。

民間と行政が一体となった研修の実施体制

将来の秋田の林業の担い手を育成するため、林業・木材産業関係団体や国・県行政機関等が参画する「秋田県林業技術者養成協議会」を開催してカリキュラム等を検討するほか、研修指導には県内外の林業・木材産業関係団体や機械メーカーで構成される「秋田林業大学サポートチーム」に協力いただいています。



SUPPORT 私たちが研修をサポートします!!



サポートチームの協力による実習「ハスクバーナ・ゼノア(株)」

秋田林業大学サポートチーム構成員

林業・木材産業関係団体	機械メーカー
● 秋田県森林組合連合会	● 住友建機販売株式会社
● 秋田県素材生産流通協同組合	● 株式会社加藤製作所
● 秋田県森林整備事業協会	● 松本システムエンジニアリング株式会社
● 秋田県木材産業協同組合連合会	● ハスクバーナ・ゼノア株式会社
● 秋田県山林種苗協同組合	● コマツ秋田株式会社
● 一般社団法人秋田県林業コンサルタント	● 日立建機日本株式会社
● 一般社団法人秋田県造園協会	● 株式会社レンタルのニッケン
● 一般社団法人秋田県森と水の協会	● 株式会社ヨシカワ
● 公益社団法人秋田県林業育成協会	● 幸和リース株式会社

令和4年4月現在

募集要項・オープンキャンパス

研修生募集要項

秋田県林業研究研修センターでは、秋田県林業トップランナー養成研修（秋田林業大学校）の研修生を募集します。
「国の宝は山なり、山の衰えは即ち国の衰えなり。（秋田藩家老、渋江政光）」を理念として、秋田林業大学校では、実践的で実務重視のカリキュラムや少人数制の研修により社会や企業が求める専門的な技術を持ち地域を支える「若い林業技術者」を養成します。

- ◆ **募集定員**
 - 推薦選考 12名程度
 - 一般選考（前期・後期） 6名程度 ※一般選考（後期）は、一般選考（前期）終了後、定員数を満たしている場合には実施しません。
- ◆ **研修期間** 2年間（1,200時間／年程度）
- ◆ **受講料** 118,800円／年
- ◆ **申請資格**

次の全てを満たした者であること。

 - ①秋田県内の森林組合や林業会社等に就職希望があり、35歳以下の者（R5.4.1現在）
 - ②高等学校卒業（見込みの者も含む）又は同等以上の学力を持った者

※1 高等学校を卒業見込みの者（推薦選考）
※2 申請資格の詳細については研修普及指導室までお問合せください。
- ◆ **申請期間及び選考日**
 - 推薦選考 令和4年 9月 5日（月）～ 9月 22日（木） 選考日 令和4年 10月 8日（土）
 - 一般選考／前期 令和4年 10月 31日（月）～ 11月 18日（金） 選考日 令和4年 12月 3日（土）
 - 一般選考／後期 令和5年 1月 10日（火）～ 1月 27日（金） 選考日 令和5年 2月 11日（土）

※「一般選考・後期」終了時に定員を満たしていない場合には追加選考を実施することがあります。
詳細は秋田県林業研究研修センターウェブサイトにて公表します。

選考会場 秋田県林業研究研修センター（秋田市）

選考科目 推薦及び一般選考（前期・後期）／小論文及び個別面接

検定料 無料

募集要項 の請求

申請者の住所・氏名・郵便番号を明記し120円分の切手を貼付した返信用封筒（角形2号240mm×332mm [A4用サイズ]）を別の封筒（長形3号など）に入れて、次の問合せ先に（「研修生募集要項請求」と朱書きして）郵送してください。又は、秋田県公式サイト（美の国あきたネット、コンテンツ番号 24796）から様式をダウンロードし、印刷してお使いください。

《問合せ先》 秋田県林業研究研修センター 研修普及指導室

住所 〒019-2611 秋田市河辺戸島字井戸尻台47-2

TEL 018-882-4512 FAX 018-882-4443 URL <http://www.pref.akita.lg.jp/rinken/>

オープン キャンパス

研修の受講を希望する方を対象に、
随時オープンキャンパス（見学会）を
開催しています。

開催日 平日の10:00～16:00（うち2時間程度）※年末年始等を除く

会場 秋田県林業研究研修センター（秋田市）
※会場までの交通手段は各自で対応ください

内容 研修概要説明、施設見学ほか

申込 要申込
※希望する日の1週間前までに林業研究研修センター研修普及指導室
（電話 018-882-4512）へご連絡ください。

研修支援・就職状況

安心して研修を受けるため、国や県、県内自治体（一部）による支援制度を活用することが出来ます。

研修給付金、奨学金

●「緑の青年就業準備給付金」 (支給期間最長2年)

研修修了後、林業分野へ就業(※)し、その中核を担うことに強い意志を持っている方に対しては、安心して研修に専念できるよう給付金制度があります。(条件が満たされなければ返還義務有り)

※森林組合、林業事業体等の林業経営体等で常用雇用の雇用契約を締結して労働すること。

●「秋田林業大学校研修生奨学金」 1年生のみ10万円（一括）

県内の金融機関の寄附による給付型奨学金を、1年生の申請者で、審査会で認められた方に対し、10万円を一括支給する予定です。(若干名)

※記載した給付金制度・奨学金制度は令和4(2022)年度の予定であり、変更される場合があります。

県内自治体による秋田林業大学校研修生支援

お住まいの市町村によっては、林業大学校の研修生向けに研修受講料や家賃に対する補助があります。自治体により要件や内容が異なりますので、詳細についてはお住まいの自治体の林業担当部局へお問い合わせください。

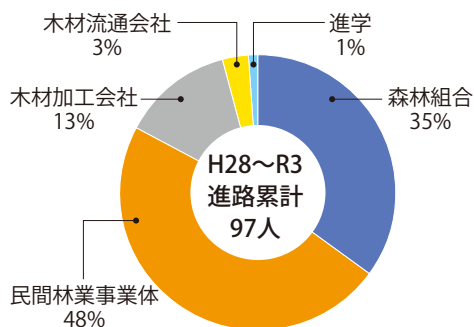
助成内容	実施自治体
受講料補助	にかほ市、仙北市、上小阿仁村、美郷町
家賃補助	能代市、鹿角市、上小阿仁村
交通費助成	由利本荘市
修学資金貸与、奨学金等	大館市(検討中)、大仙市、北秋田市

(令和4年4月現在)

就職状況

秋田林業大学校では研修生の就職決定に向け、接遇研修や面接指導のほか、定期的な指導員との面談等で進路決定の支援等を行うほか、県内林業事業体でのインターンシップ研修を通じて自身の適性の見極めと就業のマッチングにつなげ、開講以来6期連続で進路決定率100%を達成しています。

これまでの修了生はのべ97名にのぼり、県内の森林組合や民間林業事業体等で活躍しています。



令和3年度修了生(第6期生)の就職状況

森林組合

大館北秋田森林組合、男鹿森林組合
雄勝広域森林組合、白神森林組合
本荘由利森林組合、横手市森林組合

民間林業事業体・木材加工会社

秋田プライウッド(株)、(株)羽後林産
(株)門脇木材、(株)ツリーケアサービス
能代運輸(株)、(株)堀川林業

(五十音順)

修了生の声

渡辺 啓太さん(第2期生) ◆仙北東森林組合 業務課



林業に興味をもったきっかけは、高校時代の友人が林業大学校に入講すると聞いたことでした。その時に林業大学校を知り、自分も興味を持ちました。

はじめて実習でチェーンソーを持ったときは恐怖心がありましたが、2年間の研修で安全対策をしっかりと学べたことで、就職してからも自信を持って現場作業を行うことができました。

現在は、働き始めてから約4年勤めた林産事業現場から販売担当へ異動し、森林所有者の方との立木売買の契約や、地元製材所への素材の販売等を行っています。

まだ不慣れなこともあります。将来的には「森林施業プランナー」として森林管理に携わることを目標に、日々の仕事に取り組んでいます。



研修カリキュラム

テーマⅠ 森林・林業の知識と経営感覚の習得

科 目	達 成 目 標
1 林 業 基 礎	林業や木材産業に関する基礎的な知識や仕事の仕組みなどを理解し林業技術者としての見識を深める。
2 森 林 環 境	森林の持つ様々な公益的機能を理解するとともに、主要な森林病虫獣害の種類と発生特性などを理解し、適切な防除方法を習得する。
3 森 林 経 営	林業経営に関する基本的事項や森林施業提案書作成方法を学び、現場での施業を設計・提案・実行する知識を習得する。

テーマⅡ 森林の造成・生産・利用の技術習得

科 目	達 成 目 標
1 森 林 施 業	植栽から森づくりまでの一連の作業を理解する。作業目的に対応できる基礎知識と技術を習得する。
2 森 林 調 査	樹木や森林についての数値的価値を理解し、森林の現況を計測、評価する方法、測量技術を習得する。
3 路 網 開 設	森林整備の基盤となる路網開設の技術を習得する。
4 素 材 生 産	林業で使用する器具・機械の種類と性能等を理解し、基本操作を習得するとともに、高性能林業機械の活用による低コスト作業システムと安全で効率的な作業技術を習得する。
5 木材加工・流通	木材の流通形態や価格動向、住宅建築を含む木材の利活用などについての基本的知識を習得する。
6 労働安全衛生	林業労働災害に関する関係法令や基本的留意事項を学び、安全作業を実践する知識と技術を習得する。

テーマⅢ 資質を高めるスキルアップ研修

科 目	達 成 目 標
1 インターンシップ研修	県内林業事業者等での就業体験を通じ、自身の適性の見極めと就業のマッチングにつなげる。
2 総 合 講 座	個々のスキルアップに向けた考査・検定、発表などを通して現場管理者としての資質を養う。
3 選 択 コ ー ス ※2年次	【森林管理コース】 森林施業のプランニングや補助制度に関する知識を深める。 【林業技術コース】 チェーンソーや高性能林業機械の操作スキルを向上させ、低コスト生産に必要な技術を身につける。

秋田の林業へ
On
Your
Mark!!

研修風景・施設

運材



造材



路網開設



森林施業に欠かすことの出来ない森林作業道の作設技術等も実習で身に付けます。

伐採



シミュレーター



VR画面で高性能林業機械操作の学習

ドローン



危険木伐採



危険木の伐採に必要なロープワーク等も学びます。

林業研究研修センター施設配置図



- 林業機械実習棟
 - ・木造平屋 建築面積450.0㎡
 - ・実習作業場/324.0㎡
 - ・講義室/55.8㎡
 - ・管理室/16.2㎡
 - ・部品庫・倉庫ほか/16.2㎡
 - ・駐車場22台分
- 高性能林業機械

・ハーベスタ(伐木造材機械)	1台
・フォワーダ(集運材機械)	1台
・グラップル	1台
・油圧ショベル	1台



林業機械実習棟では天候に左右されずに機械研修ができます。写真左からハーベスタ、フォワーダ、グラップル、油圧ショベル



講義室

ENVIRONMENT

恵まれた環境で学ぶ

秋田県立中央公園、プラザクリプトン、国際教養大学に隣接しており、恵まれた環境の中で学べます。



交通のご案内

- 飛行機 ● 秋田空港から車で7分
- 自動車 ● 秋田南ICから車で10分
● 秋田空港ICから車で5分
- JR ● 秋田駅から車で40分
● 和田駅から車で10分
- バス ● 和田駅前から
国際教養大前まで15分
● イオンモール秋田から
国際教養大前まで15分



秋田の林業へOn Your Mark!!

問合せ先 秋田県林業研究研修センター 研修普及指導室

〒019-2611 秋田県秋田市河辺戸島字井戸尻台47-2
TEL 018-882-4512 FAX 018-882-4443

e-mail forest-c@pref.akita.lg.jp
<http://www.pref.akita.lg.jp/rinken/> (秋田県林業研究研修センターウェブサイトからアクセス)